

朴仁権先生 特別講演会

日本語
講演

— 矯正移動メカニクスに対応するTADの臨床適用について —

◀ IDB倶楽部後援 会長：菅原泰典 ▶

Temporary Anchorage Devices (以下TAD) は、日本の嘉ノ海先生がインプラントを矯正臨床に利用した以降、世界の矯正歯科では、歯の移動に関するパラダイムシフトが起こった。TADは基本的に歯槽骨に植立した小型インプラントで骨接合が起こったとき骨内では不動という特徴があり、口腔内の固定源として小さく、安定的で使いやすいという良い条件を持っている。特に、歯の移動を治療初期から3次的にコントロールする Straight Wire Appliance (SWA) が一般化されている最近の矯正歯科臨床には、**ブラケットポジションの重要性**と共に、メカニクスの単純化と患者の協力がなくても矯正歯科医の意図どおりに歯と歯列が3次的に動く無限の可能性を持ち広く使われている。近年、インプラント組織学研究の進歩で、安定性も確保し、日常臨床に欠かせない装置になっている。しかし、外科的手法は勿論、歯周組織学、精密な歯槽骨解剖の知識を習得されないと副作用の危険と失敗につながる事がある。今回の講習会には、TADの基本知識を始め、臨床に必要な歯周組織学、歯槽骨解剖学、植立方法、並びに、症例別の歯の移動に関する力系(メカニクス)を説明し、TADの臨床利用が成功する要領を説明します。

【講義の概要】

第一部：TADの基本

生力学と共に組織学並びに解剖学的基本知識を復習

第二部：矯正診断のパラダイムシフト

絶対固定源は歯科矯正臨床に何が出来るか

第三部：症例別のTADの臨床応用

不正咬合種類別に対するTADの適用

第四部：不快事項と解決

副作用又は合併症に対する対策

第五部：まとめとQ&A

講師：朴仁権先生

Park Inkwon



経歴

1976年3月 - 1980年2月
延世大学歯科専門学校 DDS
1981年9月 - 1983年8月
延世大学大学院 MS
1985年5月 - 1988年3月
東京歯科大学大学院
1986年4月 - 1991年11月
東京歯科大学大学院 博士号取
1986年6月
日本歯科医師免許取得
1992年 - 1993年
クリニカルインストラクター
東京歯科大学矯正歯科大学矯正学科
1993年 - 現在臨床教授
延世大学歯科大学矯正歯科大学矯正学科
1993年 - 1996年 国際関係担当ディレクター
1999年 - 2002年 ソウル歯科医師会
2004年 - 2006年 エグゼクティブディレクター
韓国矯正歯科学会 (KSO)
他、ライセンス、World Wide プレゼンテーションと特別講演多数 (裏面参照)

開催日時 2024年11月14日(木) 13:00~17:00

会場 オーソデントラム 3F 会議室
東京都中央区日本橋人形町 2-7-15

受講費 22,000円

募集人数 25名

*募集人数を超えたお申込みがありました場合は次回の開催日に振替させていただきます。(お申し込み順) また、最小開催人数(15名)に満たない場合は次回開催の部に順延となります。ご了承のほどお願い致します。

受講費お振込み先

三井住友銀行 人形町支店
普通1677678
有限会社オーソデントラム 講習会3

- *ご入金確認後、お申込み完了とさせていただきます。
- *恐れ入りますがお振込み手数料は各自ご負担願います。
- *キャンセルは1ヶ月前までとさせていただきます。
- *ご返金する場合は手数料を差し引いた金額となります。
- *1ヶ月前までにご入金がない場合は自動的にキャンセルとなります。
- *お申し込みご確認後、会場への地図をお知らせ致します。



下記ご記入のうえFAX、または2次元コードよりお申し込み下さい。

ご診療室名またはお名前		
ご住所〒		
TEL	FAX	携帯
メール	ご出身大学	



矯正歯科医のための大学院指導

2008年4月 - 2009年10月

MBTの哲学：2年間の矯正プログラム

リチャード・P・マクラフリン

米国カリフォルニア州 サンディエゴ

2009年10月18 - 23日

歯科矯正学および顎矯正外科

包括的なインタラクティブアドバンスト

フェイシャルリコンストラクションコース

ウィリアム・アーネット、マイケル・J・ガンソン

米国カリフォルニア州サンタバーバラ

プロフェッショナル・メンバーシップ

1980年 - 現在 韓国歯科医師会 レギュラーメンバー
1992年 - 現在 ソウル歯科医師会 レギュラーメンバー
1981年 - 現在 韓国矯正歯科医協会 レギュラーメンバー
1996年 - 2016 韓国矯正歯科学会 レギュラーメンバー
1985年 - 現在 日本矯正歯科学会 レギュラーメンバー
1986年 - 現在 一般社団法人 日本歯科医師会 レギュラーメンバー
1989年 - 現在 アメリカ矯正歯科医師会 国際会員
1997年 - 現在 国際歯科大学 F.I.C.D. のメンバー
2006年 - 現在 エドワード・H・アングル矯正歯科学会
南カリフォルニアコンポーネント レギュラーメンバー
1996年 - 現在 世界矯正歯科連盟 WFOフェロー

プロフェッショナルライセンス

韓国歯科免許	No.3441	1980年 2月 22日
日本の歯科医師免許	No.1447	1986年 6月 30日
認定矯正歯科医師(日本)	No.1550	1996年 11月 24日
認定矯正歯科医(韓国)	No.480	1997年 7月 24日
韓国矯正歯科委員会	No.1203	2018年 3月 2日

World Wideでのプレゼンテーションと特別講演

- 1__2017年 隔年アングルソサエティ会議でのプレゼンテーション
タイトル: ミニスクリュー支援急速口蓋拡張アプライアンスによる
骨格上顎拡張。
2017年9月 アメリカ・シカゴ
- 2__2017年 南アフリカ矯正歯科学会年次総会で発表
タイトル: Skeletal Maxillary Expansion by Mini Screw
assisted Rapid Palatal Expansion Appliance
- 3__Angle Society Southern California Component の東京大会
で特別発表
タイトル: ミニスクリュー支援急速口蓋拡張アプライアンスによる
骨格上顎拡張
2016年11月 東京
- 4__Angle Society Southern California Component の年次総会
で特別発表
タイトル: 矯正用ミニスクリューの臨床応用
2006年 アメリカ・カリフォルニア州 パサデナ
- 5__「第16回 日本顎変形学会学術集会」にて特別発表
タイトル: 矯正歯科ミニスクリューインプラントによる顔面非対称
性症例の顎矯正手術の簡素化
2006年6月21日 幕張プリンスホテル千葉
- 6__MEAW グループ日本学会 2007年会にて特別講演
タイトル: 顔面の非対称性に対する歯科矯正用ミニスクリュー
インプラントの臨床応用
2007年10月 京都
- 7__2004年日本矯正歯科学会学術集会特別講演 神奈川支部
タイトル: 演題: 矯正用ミニスクリューインプラントの臨床応用
2004年 横浜

出版物

【オリジナル教科書】

- 1__歯科矯正ミニスクリューインプラント臨床応用
2009年 モスビー・エルシビア ロンドン
- 2__ストレートワイヤーエッジワイズシステム(ケースブック)
2014年 長末書店 日本
- 3__矯正治療の完了(韓国語)
2023年 Daehannare パブ